

授業科目 スポーツと法

【担当教員名】 武田 丈太郎		対象学年	3・4	対象学科	スポ	
		開講時期	後期	必修選択	選択	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		態度		
◎		◎		○		
【概要・一般目標：G10】 社会におけるスポーツと法の関わり、スポーツ法の体系等を理解し、スポーツ団体、人権（体罰等）、選手の契約及びスポーツ事故等のスポーツ現場で実際に起きている事例を分析し、課題や問題点を明らかにする力を修得する。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
1. 講義の目的、内容、評価について理解する。 2. スポーツと法の関わり、スポーツ法の体系について理解する。 3. スポーツに関する課題や問題点を法的視点から捉える。 4. スポーツ事故等のケーススタディを分析、評価する。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	講義の目的、内容（スポーツ法の概説）、評価方法				1.2	講義
2	社会におけるスポーツと法の関わり				2	講義
3	スポーツ団体と法（所属団体、派遣団体、主催団体等）				2.3	講義
4	スポーツと人権・1（暴力・体罰、障害者）				2.3	講義
5	スポーツと人権・2（男女の平等、国籍）				2.3	講義
6	ドーピングと法（アンチドーピング政策、世界アンチドーピング機構）				2.3	講義
7	企業スポーツと法（実業団選手）				2.3	講義
8	スポーツ選手と契約（代理人制度を含む）				2.3	講義
9	スポーツビジネスをめぐる法的問題				2.3	講義
10	体育・スポーツ事故における法的責任				2.3	講義
11	体育・スポーツ事故の防止、リスクマネジメント、補償				2.3	講義
12	スポーツと人権問題の分析				3.4	演習
13	スポーツビジネスやプロスポーツ選手を取り巻く法的問題の分析				3.4	演習
14	体育・スポーツ事故の現状分析				3.4	演習
15	まとめ				3.4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書		導入によるスポーツ法学第2版 スポーツ六法 2011	小笠原正他（編著） 小笠原正（監修）	不磨書房 信山社	2007 2011	
その他の資料						
【評価方法】 評価方法は、レポート、毎回の小レポート及び授業への貢献度である。評価基準等は、レポート（50%）、毎回の小レポート（40%）及び授業への貢献度（10%）による総合評価とする。			【履修上の留意点】			